



第 39 回例会
【最終回】
2024.6.26

会員 76 名中 61 名出席 出席率 80.26%
修正 66 名出席 出席率 86.84%
メイクアップ 5 名



クラブテーマ
「奉仕の理念を世界に向けて愛を分かち合おう」
方針
1. ローターアクトの地位向上
2. 女兒のエンパワメント
3. DEI の促進 4. ポリオ根絶
5. ローター行動計画の実施

例会場：ウエディングエルティ 1F 福島市野田町一丁目 10-41 / 開催日：毎週水曜日 12 時 30 分

◆会長挨拶 菅野 良二 会長



今日、2023-24 年度最終例会となり会員の皆様には大変お世話様になり感謝申し上げます。先週 6 月 21 日(金曜日)第 2530 地区、田久昌次郎財団委員長よりメールがあり福島南ロータリークラブ初めてのグローバル奨学金(\$50056)赤木みゆさんが国際ロータリー財団より承認されました。赤木さんは福島高校卒業後、東北大学に入り今年度卒業後、フランス パリの大学院へ行くと言うことでグローバル奨学金を申請いたしました。

昨年、赤木みゆうさんと面接を行い将来の夢を聞くと将来はフランスの大学院で学んだことを生かし、国際的ジャーナリストになりたいとことでした。赤木みゆさんグローバル奨学生、本当におめでとうございます。

＜赤木みゆさんからのメールです。＞

グローバル奨学金を申請を行いましたご連絡が無く若干諦めていましたが、国際ロータリーからのメールを見た時は、本当に驚きました。プレチェックでもう一度挑戦して本当に良かったです。これで負担がかなり減るので、修士課程での勉強に思う充分勤めます。是非、福島南ロータリークラブにはご挨拶に行かせていただきます。本当にありがとうございました。

以上、赤木みゆさんからのメールですので次年度宜しく願い申し上げます。

昨年 5 月 8 日コロナ感染症の位置付けが感染症法上 2 類相当から 5 類感染症に移行しました。これにより季節インフルエンザなどと同じ感染症に規定され、政府が外出自粛を要請することはなくなり、感染対策は個人、事業者の判断に委ねるなど、大きな転換点を迎えました。その矢先に私が 9 月 6 日第 8 回例会にコロナ感染症にかかり欠席となり、佐久間功副会長に会長代行で会長挨拶をさせて頂きました。又、12 月 20 日第 19 回夜間クリスマス例会にはインフルエンザにかかり休ませて頂き 9 月同様に佐久間功副会長に会長代行で挨拶をして頂きました。又、12 月 20 日第 19 回夜間クリスマス例会にはインフルエンザにかかり休ませていただき 9 月同様に佐久間功副会長に会長代行で挨拶をして頂きました。

本当に皆様には大変ご迷惑をおかけしたことをこの場を借りてお詫び申し上げます。

コロナ感染症、インフルエンザなど今でも感染されている方もおられるようですのでくれぐれも手洗い、うがい等を習慣化して頂きたく思いますので宜しく願い申し上げます。今日は 14 の委員会の委員長の発表がありますので宜しくお願いします。後ほど会長退任挨拶がありますので今日最後の会長挨拶とさせていただきます。

◆新会員入場式 及び 入会式

◆地区役員への任命状の授与



新会員	たんじ 丹治	よりみつ 頼光さん
新会員	さえき 佐伯	まさのり 昌紀さん



◆委員会活動報告②

“1年間ありがとうございました、そしてお疲れ様でした”



齋藤 弘之 委員長
クラブ会報&IT委員会



笠 雅樹 委員長
ロータリー財団委員会



丹治 洋子 委員長
米山記念奨学会委員会



林 克重 委員長
親睦活動委員会



廣澤 俊樹 委員長
ロータリー情報教育委員会



菊地 和宏 委員長
スマイリング BOX 委員会



佐久間 功 委員長
公共イメージ・IT 委員会



高橋 勇雄 副委員長
クラブ 広報委員会



一條 浩孝 委員長
奉仕プロジェクト委員会



木村 昇 副委員長
職業奉仕委員会



齋藤 高裕 委員長
社会奉仕委員会



安齋 常克 委員長
国際奉仕委員会



伊藤 弘子 委員長
青少年奉仕委員会

◆会長杯ゴルフ取切戦表彰、会長賞の表彰、記念品の贈呈 “おめでとうございます！”



会長賞 会員増強委員会 河野 忠 委員長
会場監督(SAA) 鈴木 光一 会場監督



記念品贈呈 鈴木 洋子 幹事
齋藤 高裕 社会奉仕委員長
事務局 佐藤さん



ゴルフ取切戦優勝者 国分 秀夫 会員
国分会員欠席の為 代理 鈴木 恒昭 会員



● 幹事退任挨拶 ● 鈴木 洋子 幹事



幹事退任挨拶をさせていただきます。

何事も初めての事ばかりでどう動いてよいかわからず、例会や理事会が終わると「どうすればよかったのだろうか？」との不安でいっぱいでした。

回を重ねるごとに皆様からの激励の言葉が励みとなり、「やるしかない」の精神で不足分は笑顔でカバーしました。こんな私が最終例会を迎えることができましたのは、会員の皆様より温かく見守っていただいたお陰です。本当にありがとうございます
振り返れば、今までの人生の中で、最も短く感じた1年でした。菅野会長のもとで次から次へと計画が実行に移されるさまと一緒に体感出来ましたことは幸いでした。



R I ゴードン・マッキナリー会長の言葉に「世界に希望を生み出そう、ロータリーの本質は平和を築くこと、平和は夢見るものではなく、受動的なものでもない一生懸命努力し、信頼を獲得することで得られる。粘り強く、勇敢に実践しなければならない。」と、あります。

菅野会長は 20 数年前から東南アジアの貧困な国々に支援の種をまき、大事に育てそれが実を結び今回のグローバル補助金を利用したフィリピン、セブ島女子高校支援に繋がりました。お互いの国を会員が訪問し友好クラブとして提携するまでに至りました。粘り強く、勇敢に実践した結果が今後のおたがいの国の交流となりました。

第一分区の会長・幹事会では、毎回ガバナー補佐より会員増強への協力要請があり各クラブより会員増強の結果報告があります、どこのクラブも会員の高齢化が進み会の継続のために会員増強は必須の課題と知りつつ会員増強は難しいとの声が聞かれます。しかし菅野会長は「10人以上は入会して頂きたい、有言実行中です」と、言い続けました。中でも、DEI(多様性、公平さ、インクルージョン)の考えのもと、日本在住の外国籍のかたと女性会員増強に力を入れました。ほかのクラブでしてないことを実行するとの思いからです。外国籍の3名を含む13名を迎えることができました。また、女性会員の割合を15%にしたいと計画を立てて行動し女性会員13名(17.7%)を実現しました。まさに会員全員で力を合わせることで有言実行できました。会員皆様のご協力のお陰です。

この一年、幹事に指名されたことで多くの人との出会いがあり、学びがありました。一人では見ることができなかった夢を実現できました。このような貴重な機会を頂きましたことに心から感謝申し上げます。

そして、ぜひ皆さまも幹事になり人生を楽しんで下さい。

● 会長退任挨拶 ● 菅野 良二 会長



会長退任挨拶をさせていただきます。

昨年、7月5日第1回例会が始まり今日、第39回最終例会を行うことが出来ました。

これも理事、役員、会員、事務局佐藤さん、皆様の応援があったからこそだと思っております。本当に皆様、ありがとうございました。

今年度、振り返りますと昨年、7月5日第1回例会、翌日7月6日、県北第一分区ガバナー補佐を先頭に2名の分区幹事、5つのロータリークラブ会長、幹事、とでの福島ロータリークラブメークアップその後、2社の新聞社、県、市を表敬訪問、夕方から福島21ロータリークラブメークアップ、慌ただしいスタートで始まりました。

昨年、長年例会場としていたサンパレスが2024年3月に閉鎖とのことで会場を探すためのリサーチをさせて頂き駐車場、場所、会場、費用の内容等を検討した結果、ウェディングエルティとなり覚え書きを持って最終決定いたしました。

昨年、8月1日、2日、大阪第2660地区、福島第2530地区合同インターアクト研修会で福島成蹊高校がホストで当クラブから伊藤弘子青少



年奉仕委員長、青少年委員の皆様がパルセ飯坂にて福島県内のインターアクト生と大阪インターアクトとの互いの報告会が開催することが出来ました。2日には東日本大震災地、相馬市に行き相馬市役所の体育館にて語り部の方から当時のことを聞き、その後被災地である各地域を周り福島、大阪のインターアクト生は意義がある交流ができました。

今年度の会長方針「各委員会を中心に委員、全員参加型で自分たちが出来ることを奉仕の形で行動しよう」、また国際ロータリー「世界に希望を生み出そう」に基づき楽しみながら例会運営に気を配って頂きました鈴木光一会場監督、黒羽好夫副会場監督、SAAの皆様、本当にありがとうございました。感謝申し上げます。今年度は4年ぶりの家族夜間例会が納涼会、家族クリスマス忘年会、家族観桜会と段取りして頂きました林克重親睦活動委員長、清水武副委員長、親睦活動委員の皆様本当にありがとうございました。

会員増強委員会の基本方針はDEI(多様性、公平性、包括性)の考えに立ち会員増強拡大に取り組んでいただきました。新会員は交替会員3名を入れまして13名が新会員となり今日の2名の新会員の皆様を入れまして76名となりその内、女性会員は全会員の15%を目標に対して5名の女性が新会員となり17.1%で締めることが出来ました。河野忠会員増強委員長、大野順道副委員長、会員増強委員の皆様、オブザーバーとし伊藤弘子会員、本当にご苦労様でした。感謝申し上げます。

社会奉仕委員会では「地域ニーズに合わせた社会奉仕を行うため奉仕活動の見直しや新たな企画を行う」を目標に福島成蹊高校奨学金授与、花の山児童支援、大声杯支援、猪苗代湖水草回収、防火パレード、スポGOMI大会等を沢山の奉仕活動を社会奉仕委員会齋藤高裕委員長、喜古勝弘副委員長、委員会の皆様本当にご苦労様でした。

国際奉仕委員会 2023-24年度 クラブテーマ「奉仕の理念を世界に向けて愛を分かち合う」重点目標の一つ「グローバルな奉仕活動」を通して、仲間として有意義な繋がりを感じ、個人として成長や奉仕活動に貢献していくクラブを目指すことを目標にロータリー財団委員会の活動支援を行なっていただきました。フィリピン・セブロータリークラブとの友好クラブ締結式に安齋常克国際奉仕委員長、私とでのサインをして無事、セブロータリークラブと友好クラブ締結を行うことが出来ました。又、今年度は第1分区分事業で当クラブがホストなり台湾から4つロータリークラブ、またフィリピンからセブロータリークラブ、タクロバンロータリークラブからと海外からのクラブとの接客と大変お世話様になりました。

ロータリー財団委員会では国際プロジェクト実施としてセブ島の女子高校をグローバル補助金事業として行うことが出来ました。又、当クラブで初めてのグローバル奨学金が国際ロータリーより承認されました。年次基金では当クラブ目標\$10,000に対して\$10,064を達成出来ました。笠財団委員長、宍戸清和副委員長、委員の皆様本当にありがとうございました。

青少年奉仕委員会では、指導力要請活動や社会奉仕、国際奉仕、世界平和と異文化を理解するプログラムへの参加、資質を高め、将来のロータリアンとなるよう、育成を促して頂き、IAC提唱クラブとして、全会員の意識の向上と、青少年奉仕活動について理解を深めていただき、積極的にIAC例会・奉仕活動への参加を呼びかけして頂きました。共同奉仕活動への取り組みで社会奉仕委員会との連携を取りながら、協力して行う奉仕活動を行なって頂きました。猪苗代湖水草回収、スポGOMI大会、花の山児童支援等を福島成蹊高校IACクラブ(所属生徒数110名)と一緒に活動を行なって頂きました。本当にご苦労様でした。感謝申し上げます。

未だ沢山の委員会がありますが私の年度での委員会の活動は各委員長、副委員長、各委員の皆様のご協力頂き活発な事業を展開することが出来ましたことに感謝申し上げます。大変お世話様になりました。

鈴木洋子幹事、事務局佐藤様には常にご協力、ご支援をいただきましてこの場をお借りて御礼を申し上げます。会長退任挨拶とさせていただきます。

一年間大変お世話様になり本当にありがとうございました。感謝申し上げます。



